



## 左部 翔大 (さとり しょうた)

地図資源環境研究部門 鉱物資源研究グループ

4月より地図資源環境研究部門の鉱物資源研究グループに配属されました左部翔大と申します。出身は群馬県沼田市です。秋田大学工学資源学部を卒業後、同大学院国際資源学研究科にて学位を取得しました。博士課程在学中は、2年半にわたり産総研リサーチアシスタントとして鉱物資源研究グループでお世話になりました。

専門は鉱床学で、在学中から現在にかけて東北日本弧の鉱脈型銅鉱床を形成した熱水系やマグマ活動の研究を行ってきました。具体的には、秋田県の荒川地域を対象として、地質調査や岩石記載、元素組成分析、流体包有物マイクロサモメトリーなどを行い、マグマ熱水系の復元を行いました。

研究グループでは、鉱物資源の成因解明や開発可能性評価、新規鉱床探査手法の開発に取り組んでいます。特に最近、銅鉱床の形成に関与した火成岩と関与していない火成岩

の特徴を解明し、比較することで、普遍的に存在する火成岩を利用した鉱床形成能力の評価指針を生み出す為の研究に取り組んでいます。

今後は、鉱床学の学問的課題解決に挑戦すると共に、鉱物資源の安定供給に貢献できるように頑張りたいと思います。今後ともご指導の程よろしくお願い致します。



## 寒河江 皓大 (さがえ こうだい)

活断層・火山研究部門 地震テクトニクス研究グループ

活断層・火山研究部門 地震テクトニクス研究グループの寒河江 皓大です。2022年3月に東北大学で学位を取得し、4月より産総研特別研究員に着任しました。

私の研究の関心はスロー地震の成長過程を調べることです。通常地震は数十秒の継続時間で断層がすべる現象であるのに対し、スロー地震は数時間から数年かけて断層がゆっくりとすべる現象です。スロー地震は南海トラフなどの巨大地震発生域の深部・浅部延長で発生しており、その成長過程を調べることは巨大地震への影響を考えるうえで重要です。私は、産総研が三重県飯高に設置した稠密地震計アレイを使用し、スロー地震の一種であるテクトニック微動の震源決定を行いました。加えて、微動の震源位置が時間とともに移動する微動マイグレーションという現象に着目し、ゆっくりとしたすべりの時空間発展を詳細に調べました。その結果、微動マイグレーションの背景に応力降下量が一定、かつ拡散的に断層が成長する物理過程が存在することを明らかにしました。

現在は機械学習などの情報科学技術を活用して、通常地震とスロー地震の網羅的な検出やその成長過程を詳細に調べています。そして、その背後に存在する物理法則を明らかにしたいと考えています。これからどうぞよろしくお願い致します。

